

2023年3月26日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第65巻第49号(通算3331号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

レント(受難節) 第5主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 54編 6節

賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-5節) (©JASRAC)

消灯の詞

賛美歌 21-206番「七日の旅路」(©教団讚美歌委員会)

聖書 マタイによる福音書 26章 14-16節

お祈り

賛美歌 21-298番「ああ主は誰がため」(©讚美歌編集委員会)

メッセージ 「120万円の命」 水谷憲 牧師

賛美歌 21-432番「重荷を負う者」(©著作権消滅)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

誕生者祝福式(*) 水谷憲 牧師

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 水谷憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで3月生まれの方(と今年度3月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 54 編 6 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

6 見よ、神はわが助け。

わが主は私の魂^{たましい}を支える人々の中におられる。

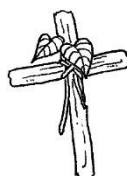
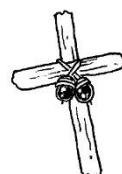
消灯の詞 (参照：ヨハネによる福音書 18 章 17 節)

司式者^{ししきしゃ} イエス様^{さま}のためには命^{いのち}も捨てるとペトロは言いました。

みんな 「しかし、イエス様が捕^とらえられると怖^{こわ}くなりました」

司式者^{ししきしゃ} 「あなたも、あの人の弟子^{ひとでし}ではありませんか」

みんな 「違う、違う、そんな人は知らない」



聖書 マタイによる福音書 26 章 14-16 節

(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

14 その時、十二人の一人、イスカリオテのユダと言う者が、祭司長たちのところへ行き、15 「あの男をあなたがたに引き渡せば、幾らくれますか」と言った。そこで、彼らは銀貨三十枚を支払った。16 その時から、ユダはイエスを引き渡そうと、機会をうかがっていた。

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 3章 1-18節

「契約」と聞くと、身近なものとしては「売買契約」や「雇用契約」などを思い出すかもしれませんが、聖書では人と人との約束、また神様と人との約束の関係性を表す言葉として用いられています。そして「契約」や「約束」という言葉の反対側には、「契約違反」や「約束破り」があるわけですが、本来はお互いが守ることに合意して約束するわけですから、初めから違反時の罰則が強調されるわけではありません。古代イスラエルの民と神様との契約も、神様が自分の民として古代イスラエルの人々を心にかけて、大切にし、慈しみ、守り祝福される、という恵みへの応答として、民は神様から示された律法を守って生活する、というものでした。にもかかわらず、民は神様の恵みを忘れ、その律法を守らなかつただけではなく、律法を守ることの出来ない人々を、死に向かう者として裁くようになってしまいました。しかし、この世界を創り、人間を創られた神様の御心は人々を死に追いやることではありませんでした。律法という石板に刻まれた古い約束を越えて、イエス様によって新しい契約、新しい救いの約束が全ての人々に与えられました。それこそが一人一人の人の胸の中、心の中に刻まれている「良い知らせ（福音）」でした。

聖書では、神様は人間を自分に似せて「神のかたち」に創造されたと記されています（創世記1：27）。他の被造物である動物たちにはない、人間ならでのものとして、その「神のかたち」なる「人間らしさ」とは何でしょうか。そのことについて「理性」や「信仰」など、様々なことが考えられるかと思いますが、ロボットや人工知能が発展し続けている現代において、それは「理性」や「知性」などの情報や、頭で考えられる理屈などではなく、むしろ私たちの「命」そのものと言えるのではないかと思います。イエス様は神と人とを大切にされ、罪びとと見なされていた人をも含めて全ての命を大切にされたために、権力者たちによって十字架へと追いやられていきました。しかし、その命は十字架上での死では終わりませんでした。また十字架で流されたその血は無駄になったのではなく、「新しい契約の血」（ルカ22：21）として、全ての人々に罪の赦しと解放を告げ、命を与えるものとされていきました。この受難節、改めて自分自身の命に向き直り、「人間らしさ」に向き直り、イエス様の言葉と振る舞い、歩みに従う者として変えられていきたいと願います。命に向き直る時、心の中に刻まれた福音に向き直る時、私たちもまた神のかたちに変えられていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 3月19日 受難節第4主日礼拝

主日礼拝出席 大人3名 中継動画再生数7回
 献金 大人3,000円 感謝

◎次週 2023年4月2日(日) 受難節第6主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は2/22~4/8です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 31編 2-3節

聖書 イザヤ書 50章 4-9節

メッセージ 「痛みの行く末」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-472番(©JASRAC)、21-280番(©JASRAC)、21-543番(©教団)、
 礼拝はインターネットで中継いたします。礼拝後に4月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。
- ・大阪府の新型コロナ警戒信号は「緑色」に変更され、マスクの着用も個人の判断に任せられるようになりました。引き続き感染症予防には留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・2023年4月~2024年2月にかけて、毎月第2火曜日18時半~20時にかけて、講座「マルコ福音書をジックリと読む」

(講師：山口里子さん)がオンラインで開催されます(主催：日本クリスチャンアカデミー、早稲田奉仕園)。

参加費は全10回で一般8,000円、学生4,000円です。お申込みは早稲田奉仕園ホームページの「プログラム・キリスト

教講座」、もしくは右QRコードよりお申込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/2	岡嶋伝道師	教会を考える会
4/9	牛田牧師	イースター礼拝・ユーカーリスト
4/16	水谷牧師	(第二好意の庭・感謝祝福式・牛田) (13時~)教会定期総会
4/23	牛田牧師	おにぎり支援

日本クリスチャンアカデミー・早稲田奉仕園共催 2023 聖書講座

ZOOM マルコ福音書をジックリと読む 第6期

今期からの受講も大歓迎です！

「マルコによる福音書」を少しずつジックリ読み進める学びの第6期です。フェミニスト、ポストコロニアル、クイア、隣辱の神学、さらには臨終神学などからの新しい読み方も随時紹介していきます。
 “温故知新。のような学びを通して、イエスが語ったことの真意、また当時の人々のこと、そして私たちの人生なども新しく一緒に思い巡らしませんか？”とつづの解釈を絶対せず、“信じない、自由も尊重し合う、そんな楽しく刺激的な学びの時としたいと思っています。今期は12章38節から終りまでを学びます。
 (ZOOMを使用したオンライン受講のみとなります)

講師 山口里子さん(聖書学者)

日本聖書神学校、米国ハーヴァード大学神学部、エビスコバル神学校で学び、博士号取得の後、ストーニーポイント・センター、ニューヨーク神学校、ニューアーク神学校で教職を執る。帰国後、恵康女学園大学、聖心女子大学、日本聖書神学校、聖公会神学院、農村伝道神学校等にて講師を歴任、日本フェミニスト神学・宣教センターにて共同ディレクターを長く務めた。

日時 2023年4月~2024年2月 18時30分~20時 (後2ヶ月6回)

① 4月11日 ② 5月9日 ③ 6月13日 ④ 7月11日 ⑤ 9月12日
 ⑥ 10月10日 ⑦ 11月14日 ⑧ 12月12日 ⑨ 1月9日 ⑩ 2月13日

参加費 全10回(一般)8000円 (アカデミー/早稲田奉仕園賛助会員)7000円
 (学生)4000円
全10回の参加費となります。1回ごとの参加はできません。一括でお申し込みください。

お申込み 早稲田奉仕園ホームページ「Program キリスト教講座」よりお申込みください

早稲田奉仕園プログラム 検索

公益財団法人 早稲田奉仕園 東京都新宿区西早稲田 2-3-1
 TEL: 03-3205-5403 / MAIL: program@hoshien.or.jp / http://www.hoshien.or.jp

日本クリスチャンアカデミー 関東活動センター 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館1階
 TEL: 03-3207-6198 / MAIL: info@academy-tokyo.com / http://www.academy-tokyo.com/